

平成 30 年度の血液製剤の安定供給に関する計画
(需給計画) (案) について

○平成 30 年度の血液製剤の安定供給に関する計画 (需給計画)
(案) 1

【参考資料】

○血漿分画製剤の自給率の推移 (供給量ベース) 7

○アルブミン製剤の供給量 (遺伝子組換え型含む) の推移 . . . 8

○グロブリン製剤の供給量の推移 9

○血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量 (遺伝子組換え型含む) の推移
. 10

平成30年度の血液製剤の安定供給に関する計画（需給計画）（案）

平成 年 月 日
厚生労働省告示第 号

本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和31年法律第160号。以下「法」という。）第3条に規定する基本理念に基づき、血液製剤（法第25条第1項に規定する血液製剤をいう。以下同じ。）の安定供給を確保することを目的とするものである。

これにより、血液製剤の需要と供給等の動向を把握し、本計画に沿った製造、輸入等が行われることを確実なものとするとともに、供給等の実績をきめ細かく把握し、適時、適切に対応できる体制を構築するものとする。

なお、本計画において、次の各号に掲げる血液製剤は、それぞれ当該各号に定めるものとする。

- 1 アルブミン 加熱人血漿^{しょう}たん白、人血清アルブミン及び遺伝子組換え型人血清アルブミン
- 2 組織接着剤 フィブリノゲン加第XIII因子及びフィブリノゲン配合剤
- 3 血液凝固第VIII因子 乾燥濃縮人血液凝固第VIII因子及び遺伝子組換え型血液凝固第VIII因子
- 4 乾燥濃縮人血液凝固第IX因子 乾燥人血液凝固第IX因子複合体（国内で製造されるものに限る。）、乾燥濃縮人血液凝固第IX因子及び遺伝子組換え型血液凝固第IX因子
- 5 インヒビター製剤 乾燥人血液凝固第IX因子複合体（輸入されるものに限る。）、乾燥濃縮人血液凝固第X因子加活性化第VII因子、活性化プロトロンビン複合体、乾燥人血液凝固因子抗体迂回活性複合体、遺伝子組換え活性型血液凝固第VII因子及び抗血液凝固第IX a / X因子ヒト化二重特異性モノクローナル抗体
- 6 血液凝固第XIII因子 ヒト血漿^{しょう}由来乾燥血液凝固第XIII因子及び遺伝子組換え型血液凝固第XIII因子
- 7 トロンビン トロンビン（人由来のものに限る。）
- 8 人免疫グロブリン 人免疫グロブリン、乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン、乾燥スルホ化人免疫グロブリン、pH4 処理酸性人免疫グロブリン、乾燥 pH4 処理人免疫グロブリン、乾燥ペプシン処理人免疫グロブリン、ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン及び乾燥ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン
- 9 抗HBs 人免疫グロブリン 抗HBs 人免疫グロブリン、乾燥抗HBs 人免疫グロブリン、ポリエチレングリコール処理抗HBs 人免疫グロブリン及び乾燥ポリエチレングリコール処理抗HBs 人免疫グロブリン

- 1 0 抗破傷風人免疫グロブリン 抗破傷風人免疫グロブリン、乾燥抗破傷風人免疫グロブリン、ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン及び乾燥ポリエチレングリコール処理抗破傷風人免疫グロブリン
- 1 1 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ 乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ及び遺伝子組換え型人アンチトロンビン

第 1 平成 30 年度に必要と見込まれる血液製剤の種類及び量

平成 30 年度において必要と見込まれる血液製剤の種類及び量は、血液製剤の製造販売業者等（製造販売業者及び製造業者をいう。以下同じ。）における供給見込量等を基に別表第 1 のとおりとする。

第 2 平成 30 年度に国内において製造され、又は輸入されるべき血液製剤の種類及び量の目標

第 1 及び血液製剤の製造販売業者等における血液製剤の製造又は輸入の見込量を踏まえ、平成 30 年度に国内において製造され、又は輸入されるべき血液製剤の種類及び量の目標は、別表第 2 のとおりとする。

第 3 平成 30 年度に確保されるべき原料血漿^{しょう}の量の目標

第 2 を踏まえ、平成 30 年度に確保されるべき原料血漿^{しょう}の量の目標は、99 万リットルとする。

第 4 平成 30 年度に原料血漿^{しょう}から製造されるべき血液製剤の種類及び量の目標

平成 30 年度に原料血漿^{しょう}から製造されるべき血液製剤の種類及び量の目標は、別表第 3 のとおりとする。

第 5 その他原料血漿^{しょう}の有効利用に関する重要事項

1 原料血漿^{しょう}の配分

倫理性、国際的公平性等の観点に立脚し、国内で使用される血液製剤が、原則として国内で採取された血液を原料として製造され、海外の血液に依存しなくても済む体制を構築すべきである。このため、国内で採取された血液を有効に利用し、第 4 の種類及び量の血液製剤の製造等により、その血液が血液製剤として安定的に供給されるよう、採血事業者が原料血漿^{しょう}を血液製剤の製造販売業者等に配分する際の標準価格及び配分量を次のとお

り規定する。

- 1 原料血漿^{しょう}の標準価格は、(1)又は(2)に掲げる原料血漿^{しょう}の種類ごとに、それぞれ(1)又は(2)に定めるとおりとする。

- (1) 凝固因子製剤用 11,990 円/L
- (2) その他の分画用 10,980 円/L

- 2 血液製剤の製造販売業者等に配分する原料血漿^{しょう}の種類及び見込量は、それぞれ(1)から(3)までに定めるとおりとする。

- (1) 一般財団法人化学及血清療法研究所
イ 凝固因子製剤用 22.0万L
- (2) 日本製薬株式会社
イ その他の分画用 37.0万L
- (3) 一般社団法人日本血液製剤機構
イ 凝固因子製剤用 29.0万L
ロ その他の分画用 26.0万L

(注)

- 1 「凝固因子製剤用」とは、採血後6時間以内又は8時間以内に凍結させた原料血漿^{しょう}であって、血液凝固第Ⅷ因子を含むすべての血漿分画製剤を作ることができるものをいう。
- 2 「その他の分画用」とは、採血後6時間以上又は8時間以上経過した後に凍結させた原料血漿^{しょう}であって、血液凝固第Ⅷ因子以外の血漿分画製剤を作ることができるものをいう。

2 血液製剤の安定供給の確保のために望ましい在庫

平成13年3月に遺伝子組換え型血液凝固第Ⅷ因子の出荷一時停止、平成27年6月に一般財団法人化学及血清療法研究所が製造販売する血液製剤の出荷差し止め等の問題が生じたことを踏まえ、このような緊急事態に対応できるよう製造販売業者等は一定量の在庫を保有することが望ましい。

別表第1 平成30年度に必要と見込まれる血液製剤の種類及び量

血液製剤の種類	換算規格	需要見込量
アルブミン	25% 50ml 1瓶	2,408,600
乾燥人フィブリノゲン	1g 1瓶	10,000
組織接着剤	cm ²	12,954,300
血液凝固第Ⅷ因子	1000単位 1瓶	888,100
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	1000単位 1瓶	182,700
インヒビター製剤	延人数	29,200
乾燥濃縮人プロトロンビン複合体	1000単位 1瓶	19,600
血液凝固第ⅩⅢ因子	1瓶	122,900
トロンビン	10000単位 1瓶	0
人免疫グロブリン	2.5g 1瓶	2,297,600
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	17,300
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	12,100
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	47,300
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位 1瓶	464,400
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	200
人ハプトグロビン	2000単位 1瓶	40,000
乾燥濃縮人CI-インアクチベーター	1瓶	4,300
ヘミン	0.25g 1管	300

(注) 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位(換算規格)に換算したうえ、四捨五入により100の整数倍で表示した。

別表第2 平成30年度に製造・輸入されるべき血液製剤の種類及び量

血液製剤の種類	換算規格	製造・輸入目標量				29年度末 在庫量(見込)	供給可能量
		国内血漿由来 ^{しょう}	輸入血漿由来 ^{しょう}	遺伝子組換え	計		
アルブミン	25% 50ml 1瓶	1,515,700	917,200	0	2,432,900	606,900	3,039,800
乾燥人フィブリノゲン	1g 1瓶	11,500	0	0	11,500	6,000	17,500
組織接着剤	cm ³	3,399,000	11,660,200	0	15,059,200	2,827,900	17,887,100
血液凝固第Ⅷ因子	1000単位 1瓶	76,900	0	735,200	812,100	359,000	1,171,100
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	1000単位 1瓶	29,000	0	115,200	144,200	89,300	233,500
インヒビター製剤	延人数	1,200	5,900	26,600	33,700	8,000	41,800
乾燥濃縮人プロトロンビン複合体	1000単位 1瓶	0	20,700	0	20,700	7,600	28,400
血液凝固第ⅩⅢ因子	1瓶	0	120,000	200	120,200	49,000	169,200
トロンビン	10000単位 1瓶	0	0	0	0	2,000	2,000
人免疫グロブリン	2.5g 1瓶	2,304,300	126,000	0	2,430,300	441,900	2,872,300
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	400	13,800	0	14,200	14,800	29,000
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	0	23,300	0	23,300	3,900	27,200
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	0	45,600	0	45,600	35,700	81,300
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位 1瓶	377,500	0	80,400	457,900	146,400	604,300
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	0	0	0	0	500	500
人ハプトグロビン	2000単位 1瓶	41,500	0	0	41,500	7,900	49,400
乾燥濃縮人CI-インアクチベーター	1瓶	0	3,400	0	3,400	3,100	6,400
ヘミン	0.25g 1管	0	100	0	100	200	300

(注1) 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位(換算規格)に換算したうえ、四捨五入により100の整数倍で表示した。

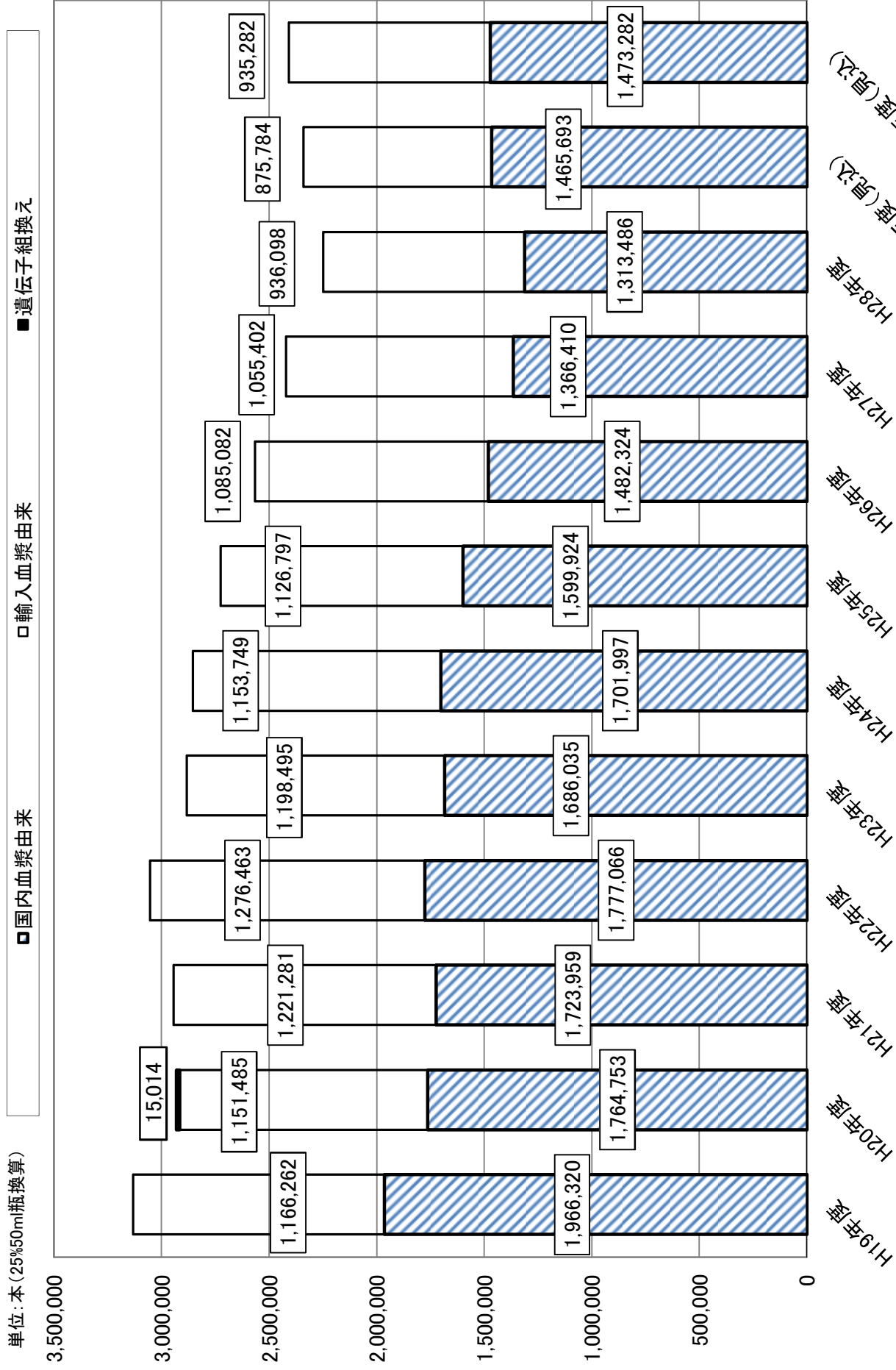
(注2) 「29年度末在庫量(見込)」及び「供給可能量」の表は、参考である。

別表第3 平成30年度に原料血漿から製造されるべき血液製剤の種類及び量

血液製剤の種類	換算規格	製造目標量
アルブミン	25% 50ml 1瓶	1,515,700
乾燥人フィブリノゲン	1g 1瓶	11,500
組織接着剤	cm ²	3,399,000
血液凝固第Ⅷ因子	1000単位 1瓶	76,900
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子	1000単位 1瓶	29,000
インヒビター製剤	延人数	1,200
乾燥濃縮人プロトロンビン複合体	1000単位 1瓶	0
血液凝固第ⅩⅢ因子	1瓶	0
トロンビン	10000単位 1瓶	0
人免疫グロブリン	2.5g 1瓶	2,304,300
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位 1瓶	400
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍 1瓶	0
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位 1瓶	0
乾燥濃縮人アンチトロンビンⅢ	500単位 1瓶	377,500
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位 1瓶	0
人ハプトグロビン	2000単位 1瓶	41,500
乾燥濃縮人CI-インアクチベーター	1瓶	0

(注) 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位(換算規格)に換算したうえ、四捨五入により100の整数倍で表示した。

アルブミン製剤の供給量の(遺伝子組換え型含む)の推移

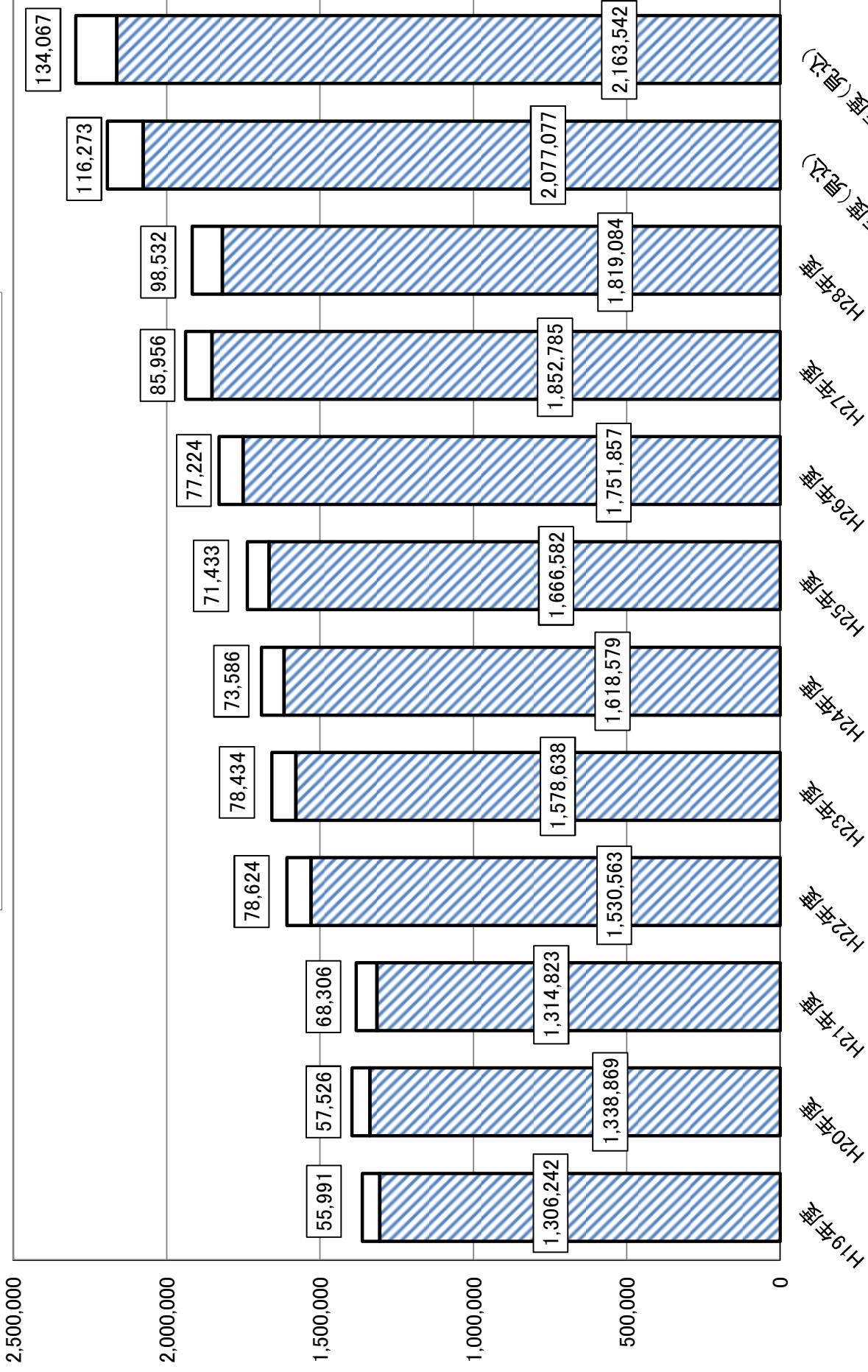


※H29年度(見込)は、平成29年4～12月の供給実績より算出(×12/9月)

ゲロブリン製剤の供給量の推移

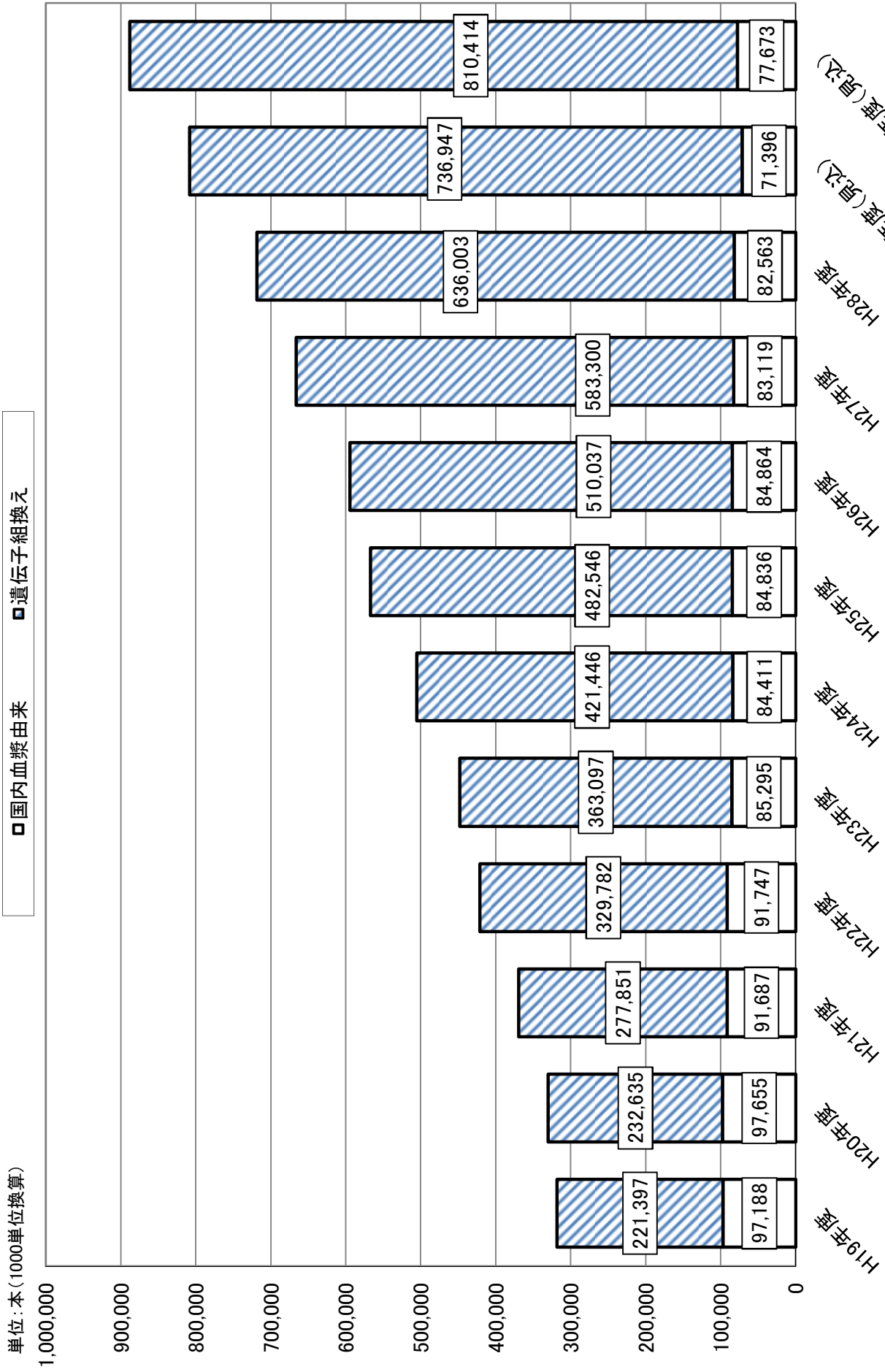
単位：本(2.5g瓶換算)

国内血漿由来 輸入血漿由来



※H29年度(見込)は、平成29年4～12月の供給実績より算出(×12/9月)

血液凝固第Ⅷ因子製剤の供給量の供給量(遺伝子組換え型含む)の推移



※H29年度(見込)は、平成29年4～12月の供給実績より算出(×12/9月)